

平成30年度昭島市障害者地域支援協議会(専門部会)の取組について

専門部会名称	こども支援部会			
部会長 副部会長	部会長名	五十嵐 美智子		
	副部会長名	瀬戸本 むつみ		
平成30年度 取組目標	障害のあるこども達と家族のニーズに寄り添い、人権が尊重され、安心安全な生活の中で、もてる可能性を十分に伸ばすことのできる支援の在り方を考える。			
目標を達成 するための 取組方針や 活動内容など	* 児童発達支援センター、教育福祉総合センターの進捗状況を理解し、提案してゆく。 * 保護者のニーズを把握する集まりを企画する。 * 学習会を行う。 * 施設見学。 * 障害福祉課の職員の方の話を聞く。 * 第一期昭島市障害児福祉計画の現況を知る。			
開催日程 ・内容	4 月		10月	施設見学予定
	5 月	全体会（今年度の予定等）	11月	学習会（障害児の性について）
	6 月	保護者のニーズを聞く会の開催	12月	全体会
	7 月	全体会	1 月	
	8 月		2 月	全体会
	9 月	全体会	3 月	
そ の 他 特記事項	今年度の活動内容については、ニーズを聞く会と学習会は決定。その他については、全体会の中でその都度決めてゆく。9月以降に児童発達支援センターや教育福祉総合センターについて話を聞く。			

平成30年度昭島市障害者地域支援協議会(専門部会)の取組について

専門部会名称	就労支援部会				
部会長 副部会長	部会長名	黒澤英明（社会福祉法人きょうされん）			
	副部会長名	山崎恵（就労支援センタークジラ）、大西保正（高月病院）			
平成30年度 取組目標	平成30年度も障害のあるすべての人の就労ニーズに寄り添い、その人らしい就労生活の実現のためにライフステージに沿ったトータル的な就労支援の充実を図ることを目的とする。 ①部会メンバーが関わった就労に関する好事例、失敗事例を持ちより、事例検討をおこない、今後の支援につなげる。 ②市役所職場体験実習の対象者等の拡大。 ③部会メンバーの情報共有の仕組みをつくり、より多くの市内事業所および企業、地域が関われるようにする。				
目標を達成 するための 取組方針や 活動内容など	①いろいろな事例を持ちよれる仕組みをつくるとともに、必要に応じて他地域や既存の事例の導入を行う。 ②市役所職場体験実習の実習生の参加人数を増やすとともに、事業所からの参加などこれまでの実習の仕組みを拡大させ、発展させる。 ③メーリングリストの活用など、具体的な情報共有の仕組みをつくる。				
開催日程 ・内容	4月	部会準備・市役所打ち合わせ		10月	懇談会資料作成
	5月	年間計画案作成・人員調整		11月	部会準備（事例検討に関わる準備）
	6月	第1回就労支援部会（年間計画確認・情報共有システム）		12月	第3回就労支援部会（事例検討および事例に関する研修会）
	7月	市役所職場体験実習支援		1月	事例検討および事例に関する研修会まとめ
	8月	部会準備（市役所職場体験実習まとめ・事例検討に関わる準備）		2月	部会準備（今年度のまとめと次年度計画）
	9月	第2回就労支援部会（事例検討および事例に関する研修会）		3月	第4回就労支援部会（今年度のまとめと次年度計画）
その他 特記事項	○これまでの専門機関との連携に加え、昭島市内の就労継続支援B型事業所や就労移行支援事業所が関われる仕組みをつくる。 ○利用者本人も参加できる仕組みをつくる。				

平成30年度昭島市障害者地域支援協議会(専門部会)の取組について

専門部会名称	相談支援部会			
部会長 副部会長	部会長名	渡辺おりえ（虹のセンター２５）		
	副部会長名	太田 紋何（昭島市障害者相談支援センター）		
平成30年度 取組目標	部会で抽出した課題の解決に向け、具体策を他専門部会と連携しプロジェクトで取り組む。			
目標を達成 するための 取組方針や 活動内容など	①事例検討会を開催し地域の課題を抽出、整理を行う。 ②サービス等利用計画様式と計画作成に伴う手続きの合理化の検討。			
開催日程 ・内容	4月	報酬改定説明、計画作成と計画作成に伴う事務手続き等の合理化検討①（相談支援事業所のみ）	10月	相談支援部会③ 事例検討・地域課題の検討
	5月	報酬改定説明、計画作成と計画作成に伴う事務手続き等の合理化検討②（相談支援事業所のみ）	11月	プロジェクトの内容共有
	6月	相談支援部会① 今年度の部会の進め方の検討	12月	相談支援部会④ 事例検討・地域課題の検討
	7月	プロジェクトの内容共有	1月	プロジェクトの内容共有
	8月	相談支援部会② 事例検討・地域課題の検討	2月	相談支援部会⑤ 事例検討・地域課題の検討
	9月	プロジェクトの内容共有	3月	相談支援部会⑥ 平成30年度部会総まとめ
そ の 他 特記事項	・定例会…偶数月に開催。事例検討と地域課題の具体化などの議論を行う。 ・プロジェクトの内容共有…奇数月に開催。今年度、地域支援協議会で地域生活支援拠点、ヘルパー養成についてのプロジェクトの発足が予想されるため、相談支援部会の各メンバーがそれぞれのプロジェクトに参加し情報共有を行う。			

平成30年度昭島市障害者地域支援協議会(専門部会)の取組について

専門部会名称	当事者部会			
部会長 副部会長	部会長名	三原恭明(昭島市聴覚障害者協会)		
	副部会長名	宮寄明美(支援を必要とする子の親の会)		
平成30年度 取組目標	① 障害者が暮らしやすい昭島をめざし、障害者差別解消を推進するとともに障害者差別解消条例の制定を求めている。 ② 全障害者当事者が参画できる企画および環境づくりをする。 ③ 障害者の視点による権利および権利擁護の意識を高める。 ④ 障害者の日常生活の質の向上（ＱＯＬ）を図る。 ⑤ 第５期障害福祉計画に策定された地域生活支援拠点事業等各種障害者福祉施策の履行を求める。			
目標を達成 するための 取組方針や 活動内容など	１．障害者の生活の向上（ＱＯＬ）を図るために必要な活動を行なう。 ２．障害者同士の理解と意思疎通を深め、全障害者が参画できる当事者部会をめざす。 ３．障害者の視点から権利と権利擁護についての学習を行なう。			
開催日程 ・内容	4月	定例会	10月	定例会
	5月	定例会	11月	全体会
	6月	定例会	12月	定例会
	7月	全体会	1月	全体会
	8月	定例会	2月	定例会
	9月	全体会	3月	定例会
その他 特記事項	定例会内容：活動内容等の協議・事例検討 等 全体会内容：学習会・講演会・懇談会 等（全障害者等の参加をめざす） 日程調整要：市長懇談会、障害福祉課懇談会、議員懇談会			

平成30年度昭島市障害者地域支援協議会(専門部会)の取組について

専門部会名称	防災部会	
部会長 副部会長	部会長名	吉澤 孝行(自立生活センター・昭島)
	副部会長名	西川 澄(昭島市視覚障害者協会)
平成30年度 取組目標	昭島市から死者を出さない	
目標を達成 するための 取組方針や 活動内容など	①総合防災訓練の参加 要援護者用物資の展示 ②福祉避難所(あいぽっく)の開設訓練と運用方法 災害発生時避難所であるとともに、要援護者支援のセンターであることの位置づけ ③高齢者福祉センター・市立会館・老人ホーム等の運用について ④要援護者の必要物資の確保	
開催日程 ・内容	4月	年間計画作成
	6月	1、総合防災訓練について 要援護者用品の展示 障害者の参加の方法 2、防災備蓄物資について 3、要援護者名簿の進捗状況 4、学校避難所の要援護者対応
	8月	総合防災訓練参加と評価
	10月	1、福祉避難所(あいぽっく) 開設訓練と運用方法 2、高齢者福祉センター・会館・老人ホーム等の運用について 3、要援護者の必要物資の確保
	12月	要援護者の情報共有
	2月	年間の振り返り
その他 特記事項	残された課題 ①要援護者名簿の利用法 ②民生委員との連携 ③高齢者福祉センター避難所について ④老人ホームとの協定について ⑤会館避難所について ⑥速やかな、みなし仮設住宅への移行について ⑦集団生活に不向きな方への配慮 ⑧在宅避難者への施策 ⑨備蓄品の適正な保管場所への変更について ⑩避難行動支援全体計画策定の進捗状況 ⑪あいぽっくで停電を想定した訓練	